生産者通信
NPO法人
米ニケーションセンター
定価　100円（送料込）

2012年　本年もよろしくお願いいたします

激動の2011年を振り返る

世論に惑わされず、本質を見極める目を養おう

「明けましておめでとうございます」と、例年なら当たり前だった新年の挨拶も今年はどこかで躊躇してしまいます。いただいた年賀状も、「今年は平穏無事な年であることを願って」というものが多かったようです。年賀状だけのお付き合いという方も結構多いのですが、年賀状を書いたり、頂いたりすることでお互いの無事を確認しあい、これまでの人生で出会った皆さんを懐かしく思い出したりすることも年末・年始の楽しみのひとつです。喪中のために年賀欠礼のはがきを頂くこともおおくなりましたが、これは自分自身の年齢のためでしょう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

年末から山間地では結構積雪が多くなり、スキー場などでは賑やかな年末・年始だったと思います。平場でも年末の一時期それなりの降雪があって驚かされましたが、まずまず穏やかな天候で、初詣の出足も良かったようです。そして昨年を思い返せば、「困った時の神頼み」ではないでしょうが、現に生きていることに対する感謝とこれからも平穏で健康な日々を送れるように願う気持ちが、お互いにこれまでになく強くなって、二年参りや初詣に足を向けさせたのかも知れません。

しかし、残念ながら今後の動向をみると内外共に課題が山積しているようです。アメリカの金融・経済・財政危機がより一層深まり、ユーロの危機を招いてEUそのものが試練に直面しています。一方で中国・インド・ブラジルなどが存在感を強めています。また、「アラブの春」と言われるように、中東諸国では民衆による反政府運動が政権を追い込んでいます。私たち自身の生活までもがこうした世界の動向に大きく影響を受けてしまうのが「グローバル化」なのでしょう。国内に目を向ければ、東日本大震災からの復興・消費税等の増税・沖縄基地・原発問題、そしてTPP等でしょう。日々報道される目先の現象に惑わされず、そこに貫かれている歴史の本質を見極める目を養いたいものですが、学者・識者の意見さえも様々ですから…？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

私の集落でも年度の終わりで、町内会と農家組合がそれぞれ事業計画やそれに伴う予算案づくりのための集会を開き、会員の意見集約を図っています。ここでも意見が対立するほどではありませんが、微妙な考え方の違いは表れます。多くの場合、どちらかの意見が正しくて相手が間違っている訳ではない場合が多いので、執行部側の一人としては「声の大きい方」に引きずられてしまわないように気配りをしています。

さて、年末・年始は寄合の機会が多くなり、当然お酒の席も多くなります。以前は集落などで酒を飲むといえば日本酒でした。ところが最近ではビールや焼酎が主役になって日本酒党は少数派になってしまいました。わずかながらですが酒米「越淡麗」を作っている生産者の一人として、自分自身は全くの下戸ですが日本酒の消費減少を食い止めて欲しいものだと都合の良いことを願っています。「酒は百薬の長」と言われていますが、これは日本酒に与えられたものではないでしょうか。

肥料・農薬などの様々な資材の購入予定や、作付け計画を検討する等、以前は農閑期と言われた冬場の仕事も結構あるようです。何もかも複雑化して、昔のようにコップ酒片手にとはいかなくなったのは残念でしょうね。

《内山常蔵　記》

種籾余裕あり！

従来コシヒカリ

エコ・ライス新潟までご連絡ください